

# ミズカビ抑制効果を持つ素材の開発

(安全安心な養殖魚の生産技術研究)

(予算区分 県単独 研究期間 平成18年度)

担当：水産試験場富士養鱒場

## 【研究の背景とねらい】

ニジマスを始めとするマス類の種苗生産ではミズカビによる被害が大きいため、ふ化までの期間定期的な薬剤の使用が不可欠でした。これまで使用されていた防除剤(マライトグリーン：MG)が薬事法の改正によって使用禁止となり、ミズカビによる被害が深刻な問題となっています。そこで、安全安心の観点から薬剤を使用しないミズカビ対策の一つとして、株式会社神戸製鋼所が開発した抗菌コート素材「ケニファイ」の効果について検討しました。

## 【研究成果】

(平成17年度までの成果)

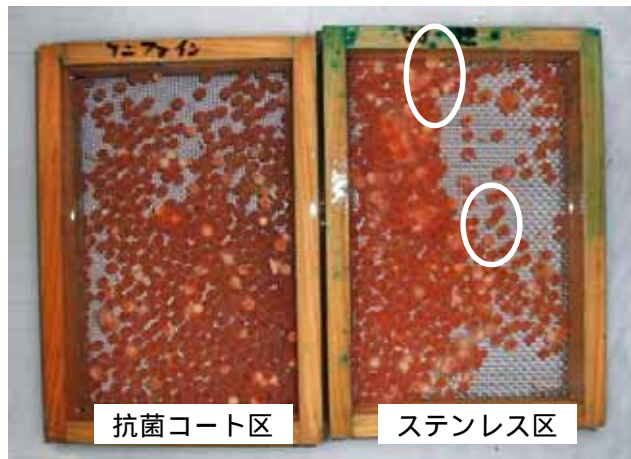
- ・ 抗菌コート網とステンレス網で卵収容槽を作製し、ニジマス卵を収容しました。抗菌コート区では、ミズカビ寄生率がステンレス区の半以下となり、発眼率でも1割程度上回りました。

(平成18年度の成果)

- ・ 抗菌コートにミズカビを接種し抗菌効果を確認しました。抗菌コートでは、ミズカビを完全に殺菌することはできないものの、菌糸の発育を強く抑制することがわかりました。
- ・ 抗菌コートした卵収容槽を用い実用規模での抗菌効果を検証しました。死卵からのミズカビ被害の拡大が抑制されることがわかりました。
- ・ 民間養鱒場において事業規模での実証試験を行ったところ、ミズカビ被害の軽減が確認できました。

## 【成果の普及方法】

普及事業の中で今後も調査を継続し、逐次その成果を普及指導します。



民間養鱒場での抗菌コート使用の様子

(作成 平成19年3月)